

環境科学分科会（第25期・第1回・議事要旨）

■日 時：令和3年3月31日（水）10:00～12:00

■会 場：遠隔会議

■出席者：（敬称略）

北川、所、阿尻、大河内、大政、小崎、桑野、後藤、谷、辻、野田、花木、
藤岡沙都子、真木、宮崎、安田、山本、吉田、和田、恒川（オブザーバー）

■欠席者：（敬称略）

平尾

■配布資料：

資料1：環境科学分科会名簿

資料2：環境学委員会企画学術フォーラム案

資料3：日本学術会議のより良い役割発揮に向けて（中間報告）

資料4：環境学委員会（1/6）の資料抜粋

資料5：第三部拡大役員会（3/25）の資料抜粋（取り組むべき課題）

■議 題：

自己紹介

(1) 委員長、副委員長、幹事の選出について

委員長に北川委員が推薦され、承認された。また、委員長から、副委員長に大政委員、幹事に宮崎委員が指名され、承認された。さらに、4月21日幹事会にて委員追加が承認された場合、恒川委員を幹事とすることが承認された。

(2) 特任連携会員について

前期（第24期）特任連携会員として積極的に活動いただいた藤岡恵子氏に、今期も特任連携会員として加わって頂くことが提案され、承認された。

(3) 今期の方針について

・前期の活動を引き継ぎ、以下の6つのグループに分かれて詳細な議論を進めると共に、各グループでの議論の共有を目的として、定期的に全体での意見交換を行っていくことが承認された。後日、メールで所属グループの確認を実施、世話役を決めて議論を進めていくこととした。

1) 生態学・生態系

2)物質循環（有機・無機）・土地資源（土壌）

3)気象環境緩和

4)エネルギー

5)生産技術・社会（社会実装）

6)都市（コンパクトシティ・都市農業）

- ・前期に発刊した叢書「持続可能な社会への道～環境科学から目指すゴール～」の内容に上記の各グループでの議論を加えつつ、シンポジウムを企画していくことが承認された。
- ・学術会議の情報発信の新たな取り組みの1つとして、大学生や大学院生などを対象とし、双方向で環境に関する議論ができる場を作る活動を進めることが承認された。環境学委員会とも相談し、他の分科会や委員の協力も問い合わせることとした。

(4) その他

- ・議事要旨の提出に関する委員長一任について、提案通り承認された。
- ・分科会委員間のメールアドレス共有について、提案通り承認された。
- ・次の分科会は、5月末～6月始めを予定。後日日程調整を行って開催日を決定。
- ・7月3日に環境学委員会企画の学術フォーラムが開催予定。

以上